

母性看護学演習

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	3	区分・時間数	講義 10.5 時間 演習 12 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

妊娠期・分娩期における看護の役割に関する概観を踏まえ、その後続く産褥期、新生児期について、その対象の身体的・心理社会的特性を理解する。また、対象が健康を保持・増進しながら経過するための基本的な看護のあり方を学ぶ。そして、事例展開による看護過程の学修や演習による基本的な看護ケアの実際について体験的に学修する。具体的には、新生児の生理、新生児の看護、産褥期の身体的・心理社会的特性、産褥期の看護、看護過程（事例展開）および看護ケアの実際（演習）について学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

新生児期・産褥期にある対象者の生活と健康を支えるための対象の特性を学ぶことにより、褥婦および新生児の健康の保持・増進と異常を予防するために必要な母性看護の基本的知識および技術を習得することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 4, 5, 7

・到達目標（SBO）

1. 新生児の身体・生理的特徴について説明できる。
2. 産褥期における身体的、心理・社会的特性について説明できる。
3. 新生児期及び産褥期にある対象者の生活と健康を支えるための看護の基本について説明することができる。
4. 新生児期及び産褥期の異常について、そのメカニズムと対象に与える影響を理解し、異常時の対応及び早期発見・予防にむけた看護の役割について説明することができる。

・ 授業日程

(矢) マルチメディア教室、 (矢) マルチ 3-A 実習室、 (矢) マルチ 4-A 講義室

【講義・演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/20	火	2	成育看護学講座	高橋 淳美 助教	<p>新生児期の経過①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出生直後の新生児に対するアセスメントの視点について、学生間のディスカッションを通し、説明することができる
4/23	金	2	成育看護学講座	高橋 淳美 助教	<p>新生児期の経過②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新生児に対するアセスメントの視点について、学生間のディスカッションを通し、説明することができる
4/27	火	2	成育看護学講座	高橋 淳美 助教	<p>新生児期の異常</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新生児期の異常について、そのメカニズムと児に及ぼす影響について理解できる ・ 異常時の対応及び早期発見・予防の基本について、学生間のディスカッションを通し、説明することができる
5/7	金	2	成育看護学講座	山本 洋子 助教	<p>産褥期の身体的変化①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進行性変化に関するアセスメントについて説明できる

5/11	火	3	成育看護学講座	山本 洋子 助教	産褥期の身体的変化② ・退行性変化に関するアセスメントについて説明できる
5/14	金	2	成育看護学講座	蛸崎 奈津子 教授	産褥期の心理・社会的特性 ・産褥期における心理・社会的変化に関するアセスメントの視点について理解できる
5/17	月	2	成育看護学講座	蛸崎 奈津子 教授	産褥期の異常 ・産褥期の異常について、そのメカニズムと母子に及ぼす影響について理解できる ・異常時の対応及び早期発見・予防の基本について説明できる
5/24	月	2	成育看護学講座	蛸崎 奈津子 教授	産褥期の看護① (看護過程形式) ・学生間のディスカッションを通し、産褥期の事例に対する看護過程(退行性変化)を展開することができる
5/31	月	3	成育看護学講座	蛸崎 奈津子 教授	産褥期の看護② (看護過程形式) ・学生間のディスカッションを通し、産褥期の事例に対する看護過程(進行性変化)を展開することができる

6/16	水	3	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	演習/看護過程① ・2グループに分けて2回にわたり展開 ・新生児期に行う看護援助方法について、その基本を実践できる ・新生児期の事例に基づき看護過程を展開することができる
6/28	月	3	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	演習/看護過程② ・2グループに分けて2回にわたり展開 ・新生児期に行う看護援助方法について、その基本を実践できる ・新生児期の事例に基づき看護過程を展開することができる
6/30	水	2	成育看護学講座	遊田 由希子 特任准教授	腹式帝王切開術の看護① ・腹式帝王切開術の術前・術中・術後における健康状態のアセスメント方法と看護援助方法について理解できる
7/5	月	3	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	演習/看護過程③ ・2グループに分けて2回にわたり展開 ・産褥期に行う看護援助方法について、その基本を実践できる ・産褥期および新生児期の事例に基づき、主に母子相互作用や育児支援に関する看護過程を展開することができる

7/7	水	2	成育看護学講座	遊田 由希子 特任准教授	<p>腹式帝王切開術の看護②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腹式帝王切開術の術後における健康状態のアセスメント方法と看護援助方法について理解できる
7/12	月	3	成育看護学講座	蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	<p>演習/看護過程④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2グループに分けて2回にわたり展開 ・産褥期に行う看護援助方法について、その基本を実践できる ・産褥期および新生児期の事例に基づき、主に母子相互作用や育児支援に関する看護過程を展開することができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護	中込さと子、他著	メディカ出版	2019
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践	小林 康江、他著	メディカ出版	2019
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術 第4版	荒木 奈緒、他著	メディカ出版	2019

・成績評価方法

定期試験 60%、演習への取組状況 20%、課題 20%にて評価する。なお、演習の取組状況は、演習での主体的・積極的態度、事前準備として課した内容の遂行状況を含む。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、教科書、「母性看護学概論」「母性看護方法論」等の既習科目資料などをもとに予習した上で講義に臨むこと。加えて講義終了後は教科書や配付資料、ノート等にて復習を必ず行うこと。各授業に対する事前事後学修時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

レスポンスカード、課題等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 母性看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影